

令和 5 年 概 況

令和 5 年の釧路港への水揚げは、数量で 18 万 9,416 トン（前年 17 万 2,554 トン）、金額は 143 億 2,314 万 8 千円（前年 105 億 3,710 万 7 千円）となり、前年と比較して数量 1 万 6,862 トンの増となり、金額は 37 億 8,604 万 1 千円の増となった。

水揚げ全国順位は、数量で 1 位（前年 2 位）、金額で 13 位（前年 14 位）であった。

（沖合底曳網漁業）

スケトウダラが不振だったため、数量は 2 万 7,049 トン（前年 3 万 5,664 トン）で 8,615 トンの減、金額は 33 億 5,296 万 4 千円（前年 36 億 6,351 万 1 千円）と、前年より 3 億 1,054 万 7 千円の減となった。

（さけます漁業）

日本 200 海里内で操業する小型鮭鱒漁業は、数量 36 トン（前年 76 トン）で前年より 40 トンの減、金額では 2,987 万 2 千円（前年 4,478 万円）となり、前年より 1,490 万 8 千円の減となった。

（まき網漁業）

前年と比較し、数量は 15 万 9,798 トン（前年 13 万 4,412 トン）で前年より 25,386 トンの増、ペルーの漁獲枠削減等の影響によりミール単価が上昇したため、金額は 101 億 390 万円（前年 60 億 5,624 万 2 千円）となり前年より 40 億 4,765 万 8 千円の増となった。

（さんま棒受網漁業）

前年と比較して、数量は 67 トン（前年 25 トン）で前年より 42 トンの増、金額では 2,708 万 7 千円（前年 1,659 万 8 千円）で、前年より 1,048 万 9 千円の増となったが、近海での漁場形成が無く、操業場所も公海上と遠いため、今年も不振は変わらない状況となった。

（いか釣り漁業）

前年と比較し、数量は 235 kg（前年 200 kg）で前年より 35 kg の増、金額では 28 万 4 千円（前年 16 万 4 千円）で、前年より 12 万円の増となった。

（沿岸漁業・その他）

数量、金額ともに前年を上回った。